



ソフトキー テンプレートの設定

管理者は、ソフトキー テンプレートの設定を使用して、Cisco IP Phone（たとえば、モデル 7960 など）がサポートしているソフトキーを管理することができます。Cisco CallManager がサポートしているソフトキー テンプレートには、標準と非標準の 2 つのタイプがあります。ソフトキーをサポートしているアプリケーションには、1 つまたは複数の標準ソフトキー テンプレートが関連付けられています。たとえば、Cisco CallManager には、Standard Feature および Standard User の各ソフトキー テンプレートが関連付けられています。標準ソフトキー テンプレートは変更できません。

管理者は、ソフトキー テンプレートの設定を使用して、非標準ソフトキー テンプレートをコピー、更新、または削除することができます。

次の各項では、ソフトキー テンプレートを設定する方法について詳しく説明します。

- [ソフトキー テンプレートの検索 \(P.77-2\)](#)
- [非標準ソフトキー テンプレートの追加 \(P.77-4\)](#)
- [非標準ソフトキー テンプレートへのアプリケーションソフトキーの追加 \(P.77-5\)](#)
- [非標準ソフトキー テンプレートにおけるソフトキーの位置の設定 \(P.77-6\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの変更 \(P.77-7\)](#)
- [IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て \(P.77-10\)](#)

ソフトキー テンプレートの検索

ネットワーク内にはいくつかのソフトキー テンプレートが存在することがあるので、Cisco CallManager Administration では、固有の基準を指定して、特定のソフトキー テンプレートを見つけることができます。ソフトキー テンプレートを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco CallManager Administration では、ブラウザセッションでの作業中は、ソフトキー テンプレートの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ソフトキー テンプレートの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 Device > Device Settings > Softkey Template の順に選択します。

Find and List Softkey Templates ウィンドウが表示されます。3 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 最初の Find softkey templates where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- Name
- Description



(注)

このドロップダウン リスト ボックスで選択する基準によって、検索時に生成されるソフトキー テンプレート リストのソート方法が決まります。たとえば、Description を選択すると、Description 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2 番目の Find softkey templates where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- ends with (後方一致)
- is exactly (完全一致)
- is empty (空白)
- is not empty (非空白)

3 番目の Find softkey templates where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- Both
- Standard
- Non-Standard

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



ヒント データベースに登録されているソフトキー テンプレートをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出されたソフトキー テンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- Softkey Template Name
- Description

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致する Softkey Template Name または Description をクリックします。

選択したソフトキー テンプレートがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.77-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

非標準ソフトキー テンプレートの追加

Cisco CallManager には、コール処理およびアプリケーション用の標準ソフトキー テンプレートが組み込まれています。カスタム非標準ソフトキー テンプレートを作成する場合は、標準テンプレートをコピーし、必要に応じてそれを変更します。

手順

ステップ 1 **Device > Device Settings > Softkey Template** の順に選択します。

Find and List Softkey Templates ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 **Add New** をクリックします。

Softkey Template Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウン リスト ボックスから、ソフトキー テンプレートを選択し、**Copy** をクリックして新しいテンプレートを作成します。

Softkey Template Configuration ウィンドウが再表示され、固有のソフトキー テンプレート名、説明、およびそのソフトキーに関連付けるアプリケーションを入力するためのフィールドが表示されます。

ステップ 4 Softkey Template Name フィールドに、ソフトキー テンプレートを識別するための固有の名前を入力します。

ステップ 5 テンプレートの使用方法についての説明を入力します。

ステップ 6 **Save** ボタンをクリックします。

標準テンプレートがコピーされ、Softkey Template Configuration ウィンドウが再表示されます。

ステップ 7 非標準ソフトキー テンプレートにその他のアプリケーション ソフトキーを追加する場合は、[P.77-5](#) の「[非標準ソフトキー テンプレートへのアプリケーション ソフトキーの追加](#)」を参照します。

ステップ 8 Cisco IP Phone の LCD スクリーン上でソフトキーの位置を設定するには、[P.77-6](#) の「[非標準ソフトキー テンプレートにおけるソフトキーの位置の設定](#)」を参照します。

ステップ 9 **Save** ボタンをクリックして、設定を保存します。

追加情報

[P.77-10](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

非標準ソフトキー テンプレートへのアプリケーションソフトキーの追加

Cisco CallManager には、コール処理およびアプリケーション用の標準ソフトキー テンプレートが組み込まれています。カスタム非標準ソフトキー テンプレートを作成する場合は、標準テンプレートをコピーし、必要に応じてそれを変更します。作成した非標準ソフトキー テンプレートにアプリケーションソフトキーを追加する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.77-2 の「ソフトキー テンプレートの検索」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、アプリケーション ソフトキーを追加するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 変更できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

Softkey Template Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 非標準ソフトキー テンプレートにその他のアプリケーション ソフトキーを追加するために、**Add Application** ボタンをクリックします。

Add Application ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 非標準ソフトキー テンプレートに追加する標準ソフトキー テンプレートを選択します。

ステップ 5 **Insert** ボタンをクリックし、**Close** をクリックします。

選択した標準ソフトキー テンプレートに関連するソフトキーが、非標準ソフトキー テンプレートの末尾に追加されます。重複するソフトキーは自動的に削除されます。特定のコール状態のソフトキーの数が 16 を超えると、そのコール状態のオプションのソフトキーが削除されます（最後の方から順に）。オプションのソフトキーが削除された後もソフトキーの数が 16 を超える場合は、メッセージが表示されます。

ステップ 6 **Save** ボタンをクリックして、ソフトキー セットの設定を保存します。

ステップ 7 ソフトキー テンプレートの更新を電話機で有効にするために、**Restart Devices** ボタンをクリックします。

追加情報

P.77-10 の「関連項目」を参照してください。

非標準ソフトキー テンプレートにおけるソフトキーの位置の設定

Cisco CallManager には、コール処理およびアプリケーション用の標準ソフトキー テンプレートが組み込まれています。カスタム非標準ソフトキー テンプレートを作成する場合は、標準テンプレートをコピーし、必要に応じてそれを変更します。作成した非標準ソフトキー テンプレートで各コール状態に対するソフトキーの位置を設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.77-2 の「ソフトキー テンプレートの検索」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、ソフトキーの位置を設定するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 変更できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

Softkey Template Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 Cisco IP Phone の LCD スクリーンにおけるソフトキーの位置を設定するために、Related Links ドロップダウンリストボックスから **Configure Softkey Layout** を選択します。

Softkey Layout Configuration ウィンドウが表示されます。Select a Call State to Configure ドロップダウンリストボックスに、IP Phone の各 Cisco CallManager コール状態が示されます。

ステップ 4 コール状態に対するソフトキー位置を設定するために、Select a Call State to Configure ドロップダウンリストボックスからコール状態を選択します。

Softkey Layout Configuration ウィンドウが再表示され、選択したコール状態に該当するソフトキーが Unselected Softkeys フィールドと Selected Softkeys フィールドに表示されます。



ヒント ソフトキーに関連するプレースホルダーを作成する場合は、Undefined ソフトキーを追加します。この操作によって、追加したソフトキーは、すべてのコール状態で同じソフトキー位置に置かれます。

ステップ 5 あるリストから別のリストへソフトキーを移動するには、右矢印と左矢印を使用します。

ステップ 6 Selected Softkeys の位置を再調整するには、上矢印と下矢印を使用します。

ステップ 7 Save ボタンをクリックして、ソフトキー セットの設定を保存します。

ステップ 8 右上隅にある Related Links ドロップダウンリストボックスから Softkey Template Configuration リンクを選択し、Softkey Template Configuration ウィンドウに戻ります。

ステップ 9 Save ボタンをクリックして、設定を保存します。

ステップ 10 ソフトキー テンプレートの更新を電話機で有効にするために、**Restart Devices** ボタンをクリックします。

追加情報

P.77-10 の「関連項目」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの変更

作成したカスタム非標準ソフトキー テンプレートに変更を加えることができます。

- ソフトキー テンプレートの名前変更 (P.77-7)
- ソフトキー テンプレートの削除 (P.77-8)
- ソフトキー テンプレートの更新 (P.77-9)

追加情報

P.77-10 の「関連項目」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの名前変更

作成した非標準ソフトキー テンプレートの名前を変更する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.77-2 の「ソフトキー テンプレートの検索」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、名前を変更するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 名前を変更できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

Softkey Template Configuration ページが表示されます。

ステップ 3 Softkey Template Name フィールドに、新しい名前を入力します。

ステップ 4 Save ボタンをクリックします。

Softkey Template Configuration ウィンドウが再表示され、新しいソフトキー テンプレート名が表示されます。

追加情報

P.77-10 の「関連項目」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの削除

作成した非標準ソフトキー テンプレートを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイスまたはデバイス プールに現在割り当てられている非標準ソフトキー テンプレートは削除できません。非標準ソフトキー テンプレートを使用しているデバイスおよびデバイス プールを検索するには、Softkey Configuration ウィンドウの Related Links ドロップダウン リストボックスから **Dependency Records** を選択し、**Go** をクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、P.A-4 の「[Dependency Records へのアクセス](#)」を参照してください。使用されている非標準ソフトキー テンプレートを削除しようとする、Cisco CallManager はメッセージを表示します。現在使用されている非標準ソフトキー テンプレートを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除する非標準ソフトキー テンプレートを使用しているデバイスすべてに、別のソフトキー テンプレートを割り当てる。P.70-6 の「[電話機の削除](#)」を参照してください。
- 削除する非標準ソフトキー テンプレートを使用しているデバイスを削除する。P.70-6 の「[電話機の削除](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 P.77-2 の「[ソフトキー テンプレートの検索](#)」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、削除するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 削除できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

Softkey Template Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **Delete** ボタンをクリックします。



(注) 該当するソフトキー テンプレートの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックすると、Find and List Softkey Templates ウィンドウから複数のソフトキー テンプレートを削除できます。**Select All** をクリックして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのソフトキー テンプレートを削除できます。

そのテンプレートを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。

ステップ 4 **OK** ボタンをクリックします。

ソフトキー テンプレートが削除された状態で、Softkey Template Configuration ウィンドウが再表示されます。

追加情報

P.77-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの更新

作成した非標準ソフトキー テンプレートを更新する手順は、次のとおりです。テンプレート名、説明、サポートされているアプリケーション ソフトキー、およびソフトキー レイアウトは更新できません。

手順

ステップ 1 P.77-2 の「ソフトキー テンプレートの検索」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、更新するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 更新できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

Softkey Template Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 変更（たとえば、アプリケーション ソフトキー セットまたはソフトキー レイアウトの追加）する設定を更新します。P.77-5 の「非標準ソフトキー テンプレートへのアプリケーション ソフトキーの追加」および P.77-6 の「非標準ソフトキー テンプレートにおけるソフトキーの位置の設定」を参照してください。

ステップ 4 **Save** ボタンをクリックします。

ソフトキー テンプレートが更新された状態で、Softkey Template Configuration ウィンドウが再表示されます。



(注) ソフトキー テンプレートの更新後、そのテンプレートを使用しているデバイスを再起動する必要があります。

ステップ 5 **Restart Devices** ボタンをクリックして、更新されたソフトキー テンプレートを適用します。

追加情報

P.77-10 の「関連項目」を参照してください。

IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て

IP Phone の設定時に、ソフトキー テンプレートを IP Phone に割り当てることができます。標準ソフトキー テンプレートおよび非標準ソフトキー テンプレートを割り当てることができます。ソフトキー テンプレートを電話機に割り当てするには、次の 2 つの方法があります。

- ソフトキー テンプレートをデバイス プール（独自に作成したもの、またはデフォルト）に割り当て、Phone Configuration ウィンドウで、そのデバイス プールを電話機に割り当て。
- Phone Configuration ウィンドウのソフトキー テンプレート フィールドで、ソフトキー テンプレートを電話機に割り当て。

デバイス プールおよび電話機を設定する方法の詳細については、[P.9-1 の「デバイス プールの設定」](#) および [P.70-3 の「Cisco IP Phone の設定」](#) を参照してください。

関連項目

- [ソフトキー テンプレートの検索 \(P.77-2\)](#)
- [非標準ソフトキー テンプレートの追加 \(P.77-4\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの変更 \(P.77-7\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの名前変更 \(P.77-7\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの削除 \(P.77-8\)](#)
- [IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て \(P.77-10\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ソフトキー テンプレート」